

標茶町議会第1回定例会

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
5番	鴻池智子	1. 感震ブレーカーの設置を進めるべき	大地震発生時の二次災害を防ぐために、昨年行われた防災訓練でも取り上げられた、感震ブレーカーの設置を進めるべきと思います。大地震発生時の火災原因は電気関係が51%とされています。感震ブレーカーには簡易タイプで安価なものもあることから、二次災害防止のため、木造の築年数が長い住宅に対し設置を促す取り組みを進めるべきと思いますが、町の考えを伺います。	町長	
		2. AEDに三角巾の導入を	以前に、一度質問をしている内容です。先月、救急救命講習を受けてきました。その中でAED使用時の女性に対する配慮から、胸部が見えないようにAEDを使用する訓練を行いました。なかなか難しい事が分かりました。着用している服によっては、さらに時間がかかります。 消防職員、団員、救助に携わる人が躊躇せず、AEDを使用できる体制を整えるためにも、改めて三角巾の導入を求めます。町内に設置されているAEDの数は公共施設等含め30台程度です。救助のために、AEDを使用した消防職員が救助した家族から訴えられたという事例もあったので、ぜひとも三角巾の導入を強く要望します。	町長	
2番	櫻井一隆	1. 町立病院は屋根の修理をすべき	町立病院は町民の健康を守る大切な施設だと思うが、町長はどのように考えているのか問う。 院内の患者待合室が雨漏りしているが、なぜ修理しないのか、その理由を伺いたい。町長が修理せずして誰ができるのか。町の財産を管理するのが町長の責任ではないのか。町長の考えを問う。	町長	
		2. 道東ホースタウンプロジェクトは見直しをすべき	道東ホースタウンプロジェクトは平成28年に企画され、今年で9年目になるので、以下について質問する。 ・預託牧場は増えたのか。預託頭数は何頭になったのか。 ・8年度も合同会社ホースタウンリンクやオフィスホースタウンと同様の委託契約を結ぶ予定なのか伺う。町財政が悪化しているので外部委託をやめて、町が自ら行うべきではないか。 ・今年もSL冬の湿原号が来ているが、駅には町有馬「トムカント」の出迎える姿	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
2番	櫻井一隆		はなく、民間の馬が乗馬の営業に来ているだけである。「馬」を核とした標茶の魅力を発信するには絶好の機会であるのに、なぜ町有馬を使わないのか理由を伺う。		
6番	齊藤昇一	1. 本町の財政状況と各施設の今後について	<p>本町の財政状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、標茶町は非常に厳しい財政状況にあります。現在の財政状況をどのように認識されているのか。そして、今後、何をしなければならないとお考えか、お示してください。 <p>町立病院について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町立病院は、町民にとって大切な医療機関であり、私も「医療を守ること」は最優先だと考えています。しかし同時に、今の形のままで将来も続けられるのか、冷静に検討する時期に来ているのではないのでしょうか。「町立病院を守るための再編」という視点で、どのような検討をされているのかお聞きします。 <p>やすらぎ園・デイサービスセンターについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進む中、福祉は欠かせません。しかし、施設運営の在り方を見直すことで、より安定的に続けられる可能性もあります。民間との連携や経営改善など、具体的な検討は進んでいるのか、お示してください <p>育成牧場について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育成牧場は、本町の基幹産業を象徴する一施設です。しかし赤字が続けば、町全体の負担になります。今後の方向性について、経営改善の具体策をお聞きします。 	町長	
		2. 町長の進退について	<p>来年度は町長選挙が控えております。この厳しい状況の中、町長は次期選挙に出馬されるお考えがあるのか。もし、出馬されるのであれば、この財政状況をどう立て直すのか、町民にどのような覚悟を示されるのか。率直なお考えをお聞かせください。</p>	町長	
1番	深見迪	1. 地域住民、登下校児童生徒の安全を守るため空き家対策を	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年10月の強風により、空き家のかなり大きなトタンが飛んできて、その一部がオモチャリ川の数か所に落ちていた。現在もそのまま放置されているが、周辺を通る小、中、高校生、地域住民にぶつかれば、非常に危険な事故となる恐れがあった。このことを町は認識しているか。 ・2015年5月に全面施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」は空き家が周辺環境や安全衛生に悪影響を及ぼすことを防ぐために、国と地方自治体が活用・処分を促すための法律である。また、2023年12月には改正法が施行され、 	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
1番	深見迪		<p>空き家対策がさらに強化されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「特定空家等に対する措置」に関する適切な実施を図るための必要な指針（ガイドライン）では、空家等の所有者等の所在を特定できない場合又は所有者が死亡しており、相続人がいることが明らかではない場合についても記述されている。すでに倒壊している空家、もしくは倒壊の危険がある空家について早急に調査し、事故が起きないうちに、特定空家等に係る代執行なども視野に入れ、対応すべきではないか。 		
		2. 学校の臨時教員を正規教員にするよう知事に要請してはどうか	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性的な教員不足による教職員の進まない働き方改革について、多くの教育現場では相当の苦勞をしていると思われる。教育委員会でも、教職員の時間外労働の大変な実態について、すでに把握していると思うが、現在どのような状況か。 ・これは全国的な課題で、全国の多くの教育現場で教員不足により、実効性のない「働き方改革」となっており苦勞していると考えるが、教育長の所見はどうか。 ・そのような中で茨城県の大井川知事が記者会見を行った。この会見で「臨時的に都合よく代替職員を探すというやり方を切り替え、しっかりと正規の教職員を採用する方向に大きくかじを切る決断をした」と話した。同課の担当者は「試験制度の見直しと併せ、働き方改革などが進んでいる点などを発信して教員志望者の確保に努めていきたい」としている。さらに、今後およそ5年間、臨時教員を正規の教員にする特別選考を実施し、臨時教員1,600人を正規教員にしていく教育改革を断行することを発表した。すでに教育長もこの記者会見の内容を知っていると思うが、感想や所見を聞きたい。 ・茨城県の教育改革こそ、実効性のある「働き方改革」であり、さらには、教育実践上現状では最も最良の方法であると考えるが、教育長の意見を聞きたい。 ・教育委員会として、このような大胆な教育改革を実施するよう北海道知事に要請すべきと考えるがどうか。 	教育長	
		3. 本町の財政危機について、直接町民に説明会を行うべきと考えるがどうか	<ul style="list-style-type: none"> ・本町の財政逼迫の状況は、今年度の当初予算案を見ても明白である。しかし、町民や事業者のほとんどはその内容について具体的なことは何一つ知らされていない。この財政的危機は本年度で終わるものではなく、翌年度以降も続いていくということが、過日の全員協議会の町の説明でも明らかになった。 ・この財政危機は、町民の痛みを伴うものであり、また、この財政危機を乗り越えていくためにも町民の理解と納得、さらには協力が必要であると考えるがどうか。 ・町は、今日の財政危機を招いた要因について、詳しい丁寧な説明と併せて町民の 	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
1番	深見迪		意見を聞くことが必要不可欠と考えるがどうか。町民への説明、懇談会を開くべきではないか。		
9番	松下哲也	1. 防災庁地方拠点の誘致に取り組むべき	<p>昨年12月に防災庁の設置に関する政府の方針が新聞報道された。その内容によると、政府は防災庁の設置を目指しており、2027年度以降に全国で2か所の地方拠点を設ける方針を固めたことが関係者の取材で明らかになったということである。これらの拠点は、日本海溝・千島海溝地震と南海トラフ巨大地震の被害が想定される地域に、それぞれ1か所ずつ設置される予定である。この拠点は、平時から被害抑制策を検討する「事前防災」の推進拠点として機能する狙いがある。また、防災庁の本庁は2026年11月1日に設置される方向で調整が進められている。</p> <p>さらに、昨年12月に閣議決定された「防災立国の推進に向けた基本方針」にもこの内容が盛り込まれ、年明けには通常国会（衆議院総選挙後の為に特別国会）に防災庁設置関連法案が提出される予定である。日本海溝・千島海溝地震や南海トラフ巨大地震では、著しい被害の恐れがある「防災対策推進地域」が特別措置法によって定められており、地方拠点はその地域内に設けられる見通しである。内閣官房によれば、12月1日時点で自治体や広域連合など30以上の団体が拠点誘致の要望書を提出しているとのことである。政府は具体的な設置場所について引き続き検討を行っている。</p> <p>令和7年第4回定例議会の一般質問でも後方支援拠点施設整備を強力に要望すべきでは、と質問している。本町の立地条件等を考慮しても標茶町は防災庁の地方拠点には最適地であると考えているが、誘致に対し町長の見解を伺う。</p>	町長	
10番	渡邊定之	1. 西別岳山小屋の管理について改善すべきではないか	<p>本町にある西別岳は多くの登山客が訪れる所として人気のある山であり、山小屋も多くの登山者が利用している。その管理について、確認事項及び具体的な内容を何点か伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登山道の流出・倒木等の事案が発生したときの対応はどのようにしているのか。 ・山小屋のトイレの環境など複数の改善事項について、管理人から強い訴えがあると聞いているが、承知しているか。また今後、どのように対応しようとしているか。 ・山小屋の冬期間の管理について、どのように対応しているのか。また、冬期間も利用者がいるため、管理人が自主的に管理せざるを得ない部分もあると聞いているが、このことについて、町はどのように考えているか。 	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
11番	類瀬光信	1. 暫定予算を編成し町内経済と町民の生活を守るべきだ	<p>令和8年度予算は、財政逼迫の原因や内容を町民に説明しないまま、各種サービスの削減が盛り込まれている。また、春先に仕事が途切れる本町の土木建設業にとって、道路補修等春先の公共事業は経営の命綱であるにも関わらず皆無に近い。さらに、根拠が不明瞭なまま会計年度任用職員の降格・時短による給与削減が進められようとしている。直面する財政逼迫に対して、仮に弥縫策だとしても町内経済や町民個々の生活への配慮を欠く予算案が示されようとしていることは、残念としか言いようがない。</p> <p>本来、町民に原因や内容を丁寧に説明し、持続可能な財政運営のため合意を形成して進めるべき改革が、町が一方向的に進めるとしたら、町民の納得も協力も得られない。今からでも町民に丁寧に説明し批判や意見を受け止めることは、今後、町民と共に痛みを分かち合いながら改革を進めるために必要不可欠だ。今後、町民と協働して行くことを考えれば「説明の時間がない」ではなく、「説明する意思がない」と見限られることは避けなければならない。</p> <p>以上の理由から、令和8年度予算を短期的な暫定予算としてはどうか。町民への説明と意見聴取を行うと同時に、経済の混乱回避と町民生活維持に配慮した予算を再度編成すべきではないか。暫定予算の内容を、令和5年度をベースとすれば、再編成の事務量を抑えることができるのではないか。町長の所見を聞く。</p>	町長	
		2. 町道の維持作業縮小は酪農の持続的再生産を妨げるのではないか	<p>令和8年度の町道維持に関して、特に草刈りの回数が半減する可能性があるという。そこで次の点について質す。</p> <p>町は、令和7年度、老朽化を理由に道路維持作業車両（草刈り機・除雪ロータリー）を更新した。これまで主に町道の草刈りに使用してきた作業車両であったので、更新が明らかになった時点で、町有のトラクターでも代行できるのではないかと指摘した。また、冬期間は除雪ロータリーとして民間事業者に貸し出すことについても提案した。トラクターでの草刈りは、アタッチメントの改造が必要だとして否定されたが、除雪ロータリーの民間への貸し出しは検討事項となった。こうした指摘や提案を行った背景には、町の財政逼迫がある。道路維持作業車両の導入費は、約4,000万円。一方、提案内容に要する費用は、試算ではアタッチメント（草刈り機本体）の価格が500万円前後、改造費と合わせても1,000万円に満たない。作業車両の更新と町道の維持作業縮小は矛盾しないか。</p> <p>また、町道の草刈りには「安全確保」と「路肩の強度維持」という重要な役割がある。町道を走る集乳ローリーは、大型化しており生乳満載時は優に20tを超える。</p>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
11番	類瀬光信		<p>牧草を収穫するハーベスターも作業機械をけん引するトラクターも町道の幅いっばいを使って走行している。視界の確保と路肩の強度維持に草刈りは欠かせない作業だ。町有車両の有効活用と基幹産業の持続的再生産のために町道の草刈りは縮小すべきでないと思うが、町長の所見を聞く。</p>		
8番	長尾式宮	<p>1. 不登校の児童生徒と向き合う環境を</p>	<p>昨年、10月29日文部科学省の発表によれば、30日以上欠席している児童生徒は12年連続で増え、全体の3.9%（26人に1人）にあたる39万3,970人と過去最高となった。</p> <p>標茶町でも不登校生徒数は増加傾向にあると聞き及んでいるが、改めてこの問題に向き合う必要があると考える。</p> <p>身体的ないじめだけでなく、ネット環境における精神的なストレスなどもあり、児童生徒を取り巻く環境は複雑化していると認識している。</p> <p>ただ、不登校の理由の中には「ただなんとなく」など、無気力が原因と思われるものも混在する。</p> <p>想像するにそのような理由での不登校児童生徒が増えてしまうと、社会に出て一番苦勞するのは児童生徒本人である。学校では基礎学力だけではなく、集団生活における「コミュニケーション」や他者と向き合うことで学べる心の成長など学校で得ることのできるものはたくさんある。</p> <p>保護者が子供の幸せな人生を願うように、我々地域の大人も児童生徒の健全育成が地域の発展に繋がると考えるところである。</p> <p>このままでは問題の解決の糸口もままならない状況で不登校生徒数が増えていく可能性が高い。</p> <p>すでに何かしらの対応はしていると思うが、保護者・先生だけでなく、地域の大人も対応できるような仕組みがあっても良いのではないか。教育長の所見を伺う。</p>	教育長	
		<p>2. 標茶の地域経済推進のため官民一体となった取り組みが必要ではないか</p>	<p>振り返るとこの30年、デフレで給料が上がらず、アメリカを起点とする金融商品の暴落で世界的不況に陥り、BSEやコロナなど疫病で経済的打撃を受け、国外の地域紛争やハイパーインフレ・円安の影響で原油をはじめとする資源の高止まり、国内でも物価高が収まらず、我々の生活に多大な影響を与えている状況である。</p> <p>地方自治においては限られた予算の中、住民の安心安全な暮らしを維持するため、社会福祉やインフラ整備をはじめとする施策が効率的に進められてきた。</p> <p>しかし、近年少子高齢化・都市一極集中に歯止めがかかからず、地方では地域経済</p>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
8番	長尾式宮		<p>の衰退、人材不足など重大な問題を抱えている。</p> <p>また、普通地方交付税の減少に伴い財源不足に陥る自治体が増え、財政難により地方自治の縮小を余儀なくされている。</p> <p>標茶町においても状況は同じで標茶の将来を不安に思う声も聞こえてくる。</p> <p>標茶町としても人口減少対策・経済対策などを行っているところではあるが、結局のところ景気の良い町に人は集まってくるのではないか。</p> <p>標茶は一次産業のまちと皆が認識するところではあるが、それ以外の職種もあり、地域経済の連携が取れているかといえ温度差を感じる場面もある。</p> <p>これから標茶を人であふれる景気の良い町にしていくためには、各経済団体を交え、官民一体となってまちづくりを話し合い、中央へ予算獲得のため働きかけるべきと考えるが町長の所見を伺う。</p>		
4番	鈴木裕美	1. 会計年度任用職員フルタイムのパートタイムへの移行を撤回すべき	<p>会計年度任用職員のフルタイム職員の一部をパートタイムに移行することが、昨年の第4回定例会の予算審査特別委員会の質疑の中で明らかになった。その後、フルタイムからパートタイムになる対象者複数人から、パートタイムになるよう打診され、それがダメなら退職し、他の職場へ移ってはどうか、というようなことを言われたとの相談があった。2020年4月からスタートした会計年度任用職員制度だが、何故フルタイムからパートタイムに移行させるのか考えを伺う。</p> <p>対象となる職員は何人か職種別に伺う。また、対象となる職員の現状の給与等の総額はいくらか、そしてパートタイムにすることによっていくらになるのか伺う。さらに対象となる職員一人あたりの減収額はどのくらいになるのか伺う。</p> <p>それぞれ対象となる職場で正職員の業務量が増加するといった弊害が出ると危惧するが、どのように解決するのか伺う。</p> <p>対象職員にとって、大きな労働条件の変更であるが、労使協議はどのように行ったのか、また合意は得ているか伺う。</p> <p>あまりにも強引すぎるやり方は正職員にも悪影響を与え、士気の低下につながると思う。対象となるフルタイム職員のパートタイムへの移行は撤回すべきと考えるがいかがか。</p>	町長 教育長	
		2. 駅前通りの空き店舗の利活用で商店街の活性化を	<p>駅前通りは空き店舗のシャッターが降りていて、活気が感じられない。特に日曜日になると定休日の飲食店もあり、町民はもとより、町外からの来訪者が集う場所が無いとの声が聞かれる。</p> <p>暮らしと町の魅力向上、地域経済の活力向上、町民・町外の方にも魅力ある地域</p>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める者	答弁内容
4番	鈴木裕美		を指すためにも空き店舗所有者、観光協会、商工会等と協議し、駅前通りの空き店舗の利活用の検討を行ってはと考えるがいかがか。		